

新たな学校の開校と、本校の位置づけ

都立新国際高等学校(仮称)は、その理念や専門家意見を踏まえ、「新たな教育のスタイル」を実施する学校としてバージョンアップ
「新たな教育のスタイル」を本格的に実現する基幹校として、令和11年度に開校

育成する人材

柔軟で自由な発想で、世界に飛び出し、生き抜く人材

必要な仕組み 自らの学びを設計し、「AI」と「グローバル・リーダー」の力を結集して最後までやり抜ける学びの仕組み

多様な価値観を受け入れ、新しい未来を創るイノベーター人材

必要な仕組み 国際交流、スタートアップとの連携等により国際社会の貢献に資する自分の「究めたい」を徹底的に学べる環境

進路イメージ

グローバルに貢献できる先端人材
国内外の最難関大学(リベラル・理工等)へ進学

新たな価値を創造するイノベーター人材
高校時代に究めたことを一層研究を続けていく

教育方針

デジタルの力で、学びを究める進学校 ～自分を磨いて、白金から世界へ～

自己デザイン

- ✓ 興味・関心を起点に自ら選び、決める力
- ✓ 幅広い視野と柔軟な思考力

創造

- ✓ 論理的思考力、本質を見抜く力
- ✓ 興味を起点とした新たな価値創出

協働

- ✓ 多様な価値観を柔軟に受け入れ
- ✓ 社会参画意欲、新しい未来の創造

「AI」と「グローバル・リーダー」の力を結集して「プラチナ・カリキュラム(仮称)」で実現

「プラチナ・カリキュラム(仮称)」の3つの特徴

01 自己デザインによる学びを叶える仕組み

「AI」や「グローバル・リーダー」の力を結集し、リアル^{リアル}の学びをデジタル^{デジタル}で柔軟にするハイブリッド型教育

「通学」と「いつでもどこでも」を組み合わせたクォーター型運用

4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
通学期	自己選択期	通学期	自己選択期

「AI」等のデジタルを活用

確かな学力^{確かな学力}を身に付けて「究めたい学び」へ



「グローバル・リーダー」からの学びの機会を創出

02 自分の「究めたい」学びを深める仕組み

知識を課題解決学習に活かして究める
探究的な学習

相乗効果

「AI」の力も活用した事前学習してから授業で協働して深める
反転した学習

学習方法を学ぶ ➡ 実践 ➡ 発展 を繰り返す

03 生徒の学びを支える伴走の仕組み

リアル

教員は生徒の学びの伴走者

生徒が中心になる
コーチング、ファシリテーションを重視

デジタル

学習の可視化
LMSの活用

AIも活用し、
学びの状況を生徒、教員が共有

リアル

パーソナルメンターの導入

外部と連携し、1on1で相談可能